



森の幼稚園へようこそ 港区立白金台幼稚園 11月園だより

平成30年10月26日
園長 新井智子

〒108-0071
港区白金台
3-7-1
(3443) 5666



<http://shirokanedai-kg.minato-tky.ed.jp/>

運動会 5歳児のソーラン節



未就園児対象

ペンギンミニ運動会で踊る4歳児



森の園庭の文化を継承する

園長 新井智子

「森の運動会」が地域や保護者の皆様のお力添えで盛会に終わり、園庭は、日常の光景が戻ってきました。運動会の取り組みは、学年や学級単位で行うことが多かったのですが、今、園庭では、いろいろな学級カラーの帽子が混じり合い、それぞれ好きな遊びに向かっている姿があります。4歳児が、森のリレーコースをゼッケンを着けて走ったり、5歳児にバトンの渡し方を教えてもらったりしています。また、3歳児がポンポンを持って、4歳児と一緒にダンスを踊ったり、5歳児が親子競技を自分たちだけでやってみたりする姿もあります。至るところで5歳児が「先生」「師匠」「コーチ」としてソーラン節や競技を教え、遊びをリードしていく様子が見られます。5歳児が運動会を機に成長し、自信や有用感をもって年下の友達にしっかりとした態度で接しているたくましさは素晴らしいものです。また、年下の子どもたちは、あこがれの気持ちを募らせ、やってみたいことに積極的に取り組み、生き生きと体を動かしています。3・4歳児にとっても経験の幅を広げる機会になっていることを実感します。

運動会の余韻を楽しみながら、次の遊びに向かっている子もいます。季節は秋。色付き始めた落ち葉やどんぐり、木の実など、自然物を遊びに取り入れて実験や製作、ごっこ遊びなどを楽しんでいます。子どもたちは、イメージを広げ、創造力豊かに園庭をキャンパスにして、遊びを形にしています。そして、「サーカスやってます。見に来てください」「木の実のレストランだよ」「歌舞伎の舞台！」仲間と一緒に遊びの物語ができていくのです。その遊びもまた、学年の枠を超えて関わりが広がり、「何しているの?」「やってみたいな、入れて」と、新たな異学年との交流を生み、遊びが展開していきます。こうして、「森の園庭」で豊かな遊びや幼児間の関わりが、秋とともにじっくりと深まっています。そして、白金台幼稚園の遊びの文化として伝承されていきます。

<今月の指導のねらい>

3歳児

- 汚れた時の着替えや片付けなど、生活に必要なことに自分から取り組み、できた満足感を味わう。
- 友達と同じ場で、自分の思いを言葉や動きに出し、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- どんぐりや落ち葉などの秋の自然物に触れ、親しみをもったり遊びに使う楽しさを感じたりする。

4歳児

- 自分の思いやイメージを伝えたり、相手の考えを聞いたりしながら、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。
- グループの友達と過ごす中で、生活に必要なことに進んで取り組もうとする。
- 園庭の落ち葉や木の実などの自然物に関心をもち、遊びに取り入れたり使ったりする楽しさを味わう。

5歳児

- 発表会に向けて、学年や学級の友達と共通の目的をもち、自分の力を発揮したり友達の良さに気付いたりしながら活動を進めていく。
- 遊びや生活の中で見通しをもち、時間を意識したり友達と協力したりして準備や片付けに取り組む。
- 秋の自然に関わり、感動や発見を伝え合ったり、遊びに取り入れたりすることを楽しむ。

